

新潟県

公民館月報

昭和56年2月号

発行所 新潟県公民館連合会

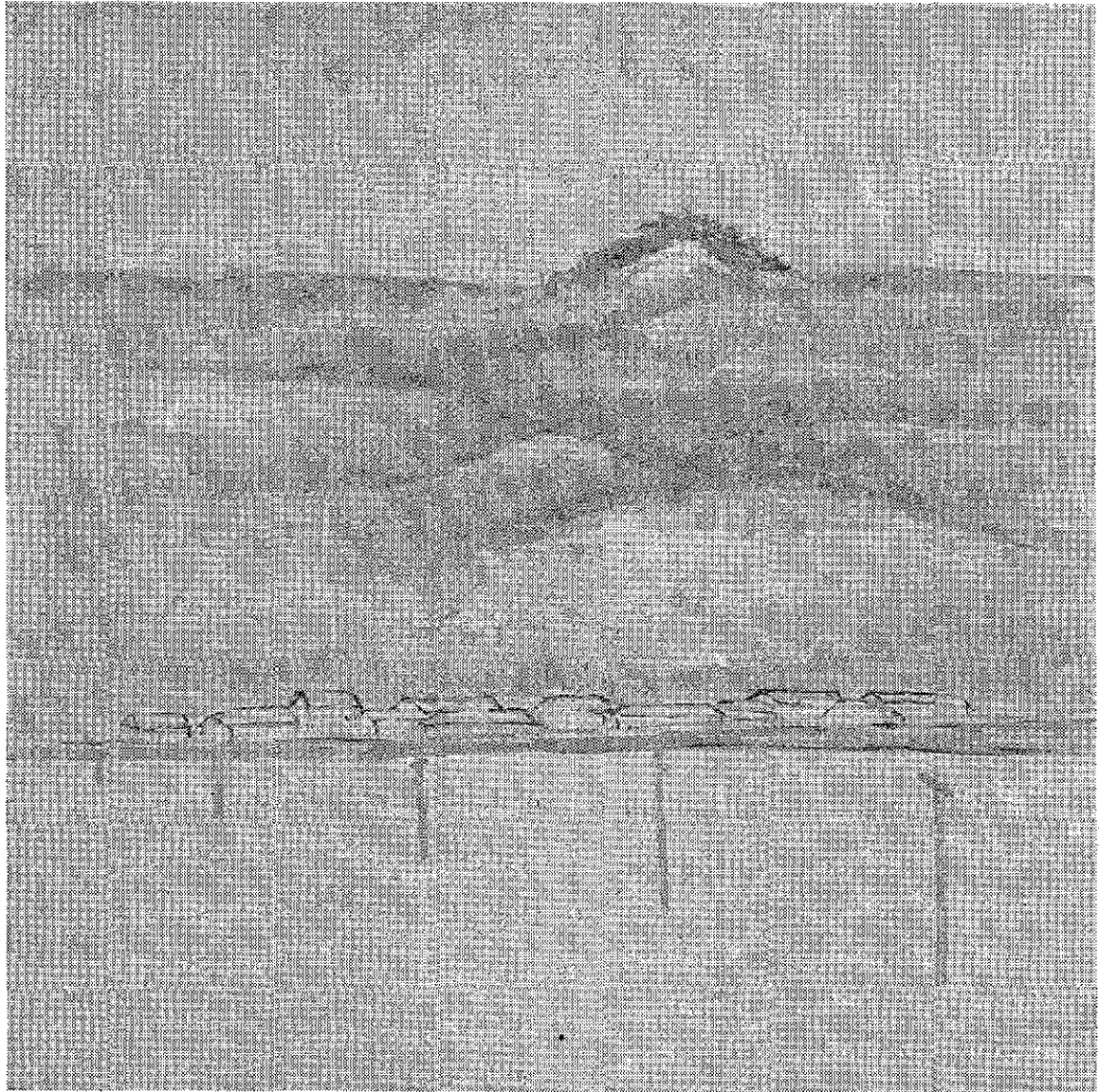
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年共・年価 840円】



小木ノ城趾

上、信越線の車窓より西を望めば、丘陵に一段高くそびえ、越後線より東を望んでも見ることができ、三島、出雲崎の両町が境を接しているあたりにそびえ立っているのが、小木ノ城趾である。

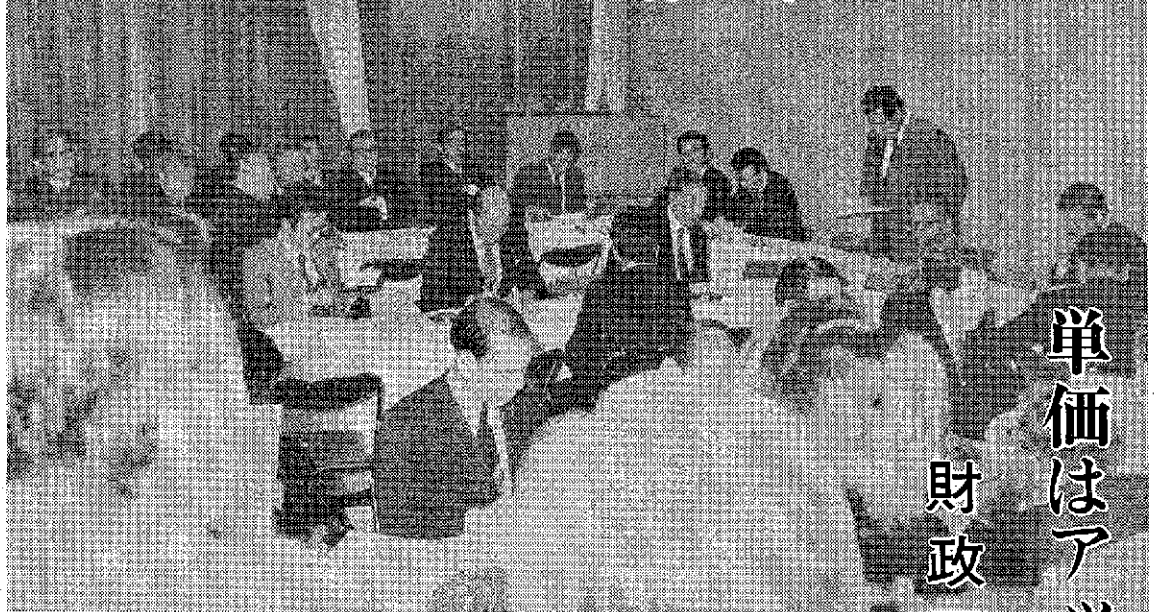
萩城は、南北朝時代の典型的山城で、標高三四一呎。南北朝時代、刈羽郡小国氏の一族萩氏(小木)氏がこの城によって、南朝に属した。上杉時代には雲上寺入道忠経が景慮に属し、次いで松本左馬助が居城。子、鶴松丸は春日山詰であったが、景勝、会津に移封の際これに従った。

のろし台、本丸、二の丸その他の遺構を見ることができ、東は長岡方面の平野部、西は日本海までみわたすことができる要害の地である。頂には櫓の大木があり、往時の景観を伝えている。

絵と文・片桐英治

三島町公民館長

公民館建築費国庫補助



単価はアップ 館数減る

財政再建で厳しい査定

毎年公民館予算攻防の正念場となる与党文教部会

十月四日開催された全国公民館振興大会の決議をうけて、公民館施設整備補助四十五億二千万円、生涯教育事業振興補助二十四億四千万円の獲得をめざす陳情運動が、昨年十月二十二日から一週間にわたって実施された。

今回の運動態勢は、少数精鋭主義とする方針で、参加者は各県一各とばられていたが、昭和五十六年度政府予算は、財政再建を理由に、補助金の打ち切りも敢えて辞さないという、予想を下回る厳しい情勢。このため運動は極めて苦しい展開となり、最後のドンジリまで予断をゆるさぬ展開となった。

まず十二月十三日の第一次内示では、公民館施設整備補助百十二億八千四百円(館数三百六十四館、単価平均三千百円)、生涯教育事業補助で二十億六千三百一十七万円と出た。これは前年度実績の建築費補助に対して十四億七千六百円も下回る赤字額で、かつて経験のない厳しい内容であった。このため、たまたま文部省当局と協議、生涯教育事業補助内示額をのみ込められ、施設整備補助額を七億五千七百万円に引き上げた。

十一月二十三日の第一次内示では、公民館施設整備補助百十二億八千四百円(館数三百六十四館、単価平均三千百円)、生涯教育事業補助で二十億六千三百一十七万円と出た。これは前年度実績の建築費補助に対して十四億七千六百円も下回る赤字額で、かつて経験のない厳しい内容であった。このため、たまたま文部省当局と協議、生涯教育事業補助内示額をのみ込められ、施設整備補助額を七億五千七百万円に引き上げた。



運動本部で対策を練る右から田村全公連会長・服部公振連会長と谷口常務理事

つれ込んだ。こうして出た数字は、公民館施設整備補助額百二十四億九千三百円(四〇三館、単価平均三千百円)、生涯教育事業費補助額二十二億三千二百一十二万円となった。

陳情打ち上げ予定の二十五日に至っても結果が見られず、折しも東北地方に降り積った雪で燃焼できない県人も出はじめ、一方、全国の陳情団も例年のように会場でメソメソ交代もなく、一言して連日の運動に加わり、全公連公振連の主眼部ともなわれ、衰えをかくしきれない様子となった。

〔参考〕		(単位千円)	
	館数	単 価	総 額
図 書 館	36	55,000	1,980,000
博 物 館	13	55,000	715,000
少年自然の家	8	149,000	1,192,000
青 年 の 家	4	55,000	220,000



あまの読書なま縁の海かいた
私でしたが、数年前会社の仲間
に進められて読書初めると、お
もしろくその中で「番田家の騒
かたがたが、有言和下の「複
合汚染」です。特に農薬公害の
活字が目上り、お米につく
「コトウ虫」が今はつかない
とのこと、それはDIT、BH
Cトリン系農薬、今は使用禁
止になって

いさげれど
も、その残
留汚染が、
水産農薬の
ためではな
かろうか。
と書かれて

おりましたが、主人に「少し
稲の手防をひかえたら」と言え
ました、なかなか出来ないう事
です。感心いたしました。
秋の農薬公害書もやはり文化
の痛みを言えましょうか、堆肥
にして田舎をすれば有機農法
になりました。

公 害



蒲原 房子

おりましたが、いざ自分がたす
さわるごとなかなかうまくいかず
悪いとは思ひながら要にたまる
ことになりました。
新潟のある老人が有機農薬で
とれる野菜が近所の奥さん達に

の一助にたのでしょ。幸
い家では昨年、今年とある農家
の方が半作後もらったさるの
で「無公害」ブランド「手間」が
はぶけるのを喜んでおります。
先日新聞に社生妻の赤色は
石油から出来ると発掘物質で
あると載っておりましたけれ
ど、「着色」た生妻はよく死れる
けれど、そのまの生妻は先れ
が悪いそうです。だから消費者
にもその責任があると言わなけ
ればならないと思ひます。
日本食は手すの目のご馳走だ
と聞いたことがありますが、そ
の通りだと改めて考えさせられ
ました。

らゆる方面の公害が騒動で、読
んば位は、毒を口に入れるよ
うな錯覚で、この先人類はう
なるのなつかさと思わずにい
れませんか。
読んだ事を教訓に少しでも公
害を止まそうして公害から逃れ
るように努力していきたくと思
っております。
(筆者は農家の主婦・前、三条
市井菜公民館運営協議会副
公民館刊「伊久礼」による。

- × × ×
- × × ×
- × × ×



通い入れた永田町への陳情コース。先頭は石井豊栄市長（本会々長）



文教部会代議士をとらえて熱心に陳情する石井会長(左)

石井新一ノモ ㊤

中国歌紀行(5)

街頭所見

汽車を火車というはおもしろし日本の赤字国
鉄こそ火車というべし
三交代二十四時間の職場とか常に街路は人の
多くて

皮靴は政府高官か庶民らのズツクの靴は見る
日に軽快

カメラ掲げ歩くわれらに人々の視線集まるも
の珍しげに

看板で施設概ねわかるなりソ連と違ふ漢字の
国なれば

必需品は安く奢侈品は高価なり十億が住む貧
しきこの国

自転車は二万八千円労働者の一月分の給与額
なり

十インチ白黒テレビはソニー製定価八万四千
余円

森の中処々に煙突見えるのみここ安陽も新工
業都市

熟睡し夜半のどしや降り知らざりし朝の花壇
は水びたしなり

小規模の炭坑数あり麦畑の起伏の道をくねり
ていけば

(作者は本会々長・豊栄市長)

新生公民館繁盛記

(3)

紫雲寺町中央公民館



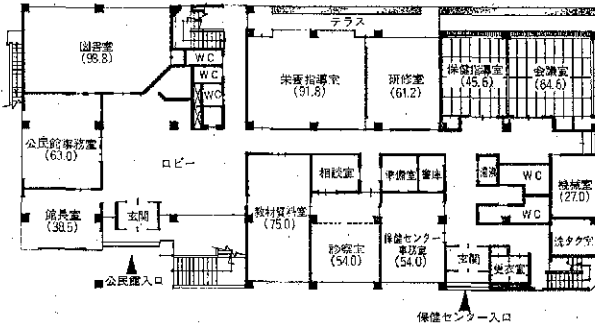
住民待望の殿堂完成

保健センターとの連携をたもつ

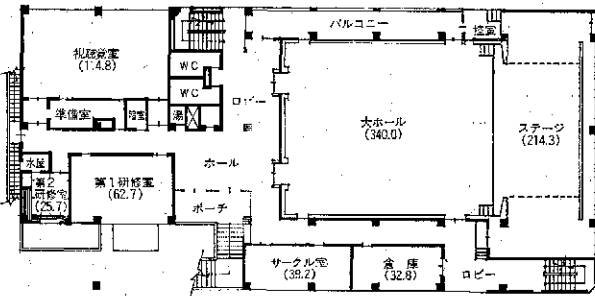
町民久しく待望し、保健センターを併設してあります。
館が町制施行二十五周年の記念すべき年に「中央公民館」として新装落成しました。
社会経済の発展、産業構造の急激な変化が予想される昨今、芸術文化は生活の絆として、郷土の発展に、そして地域の発展意識向上に対応する源です。
このためには、施設設備の充実はもちろんですが、生活環境の多様化などに応えなければなりません。
そこで町民の健康づくりを推進するための拠点となると同時に、町民の自主的活動の場として、積極的の事業を行う機関

中央公民館・保健センター平面図

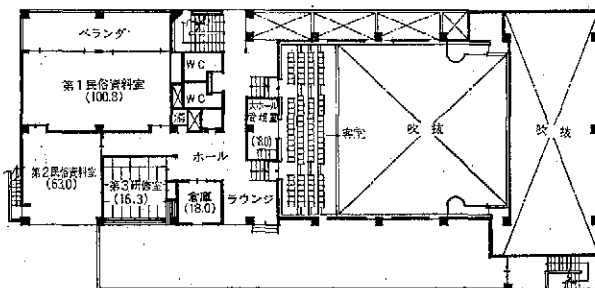
一階平面図



二階平面図

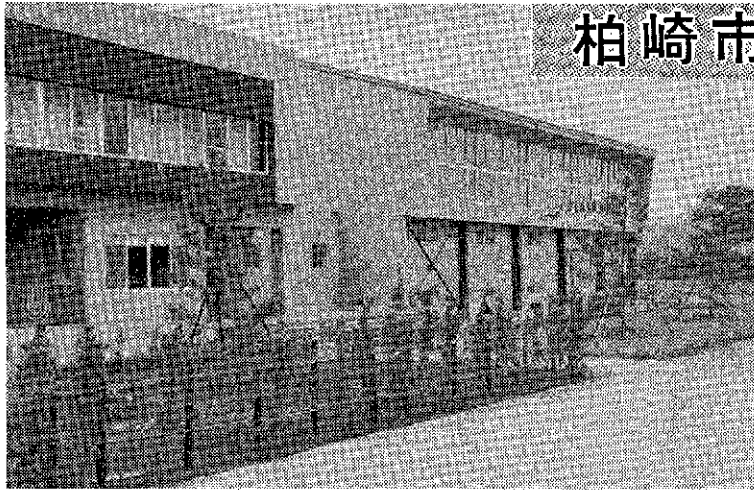


三階平面図



今までも町における地域交流の場として、設備の整った施設が不足していましたが、住民みなさんの協力により新公民館を会場に立派に実現できました。また、このセンターの設置をめぐって期待されるのは、中広い活動の場として配の大ホールは広さ自坪(定員六百)
感されており、特にスチーフ入名でフォーダンス、卓球、バト
ホールは照明設備が完備され、今
後の諸行事に効果的に利用できる
ものと思われます。
今回ならびに公民館では記念
行事の一環として、県芸術祭特別
賞の新ヴィジュアルライオン舞団の
公演鑑賞や、前進座の「怒る」の
土公演、そして県美術館博物館所
蔵作品(日本画、洋画、工芸品
等)四十六点の特別展示等全市民
の協力により新公民館を会場に
ものも確信しております。
(紫雲寺町公民館長・
関 清衛)

柏崎市田尻公民館



地区館とコミュニティ

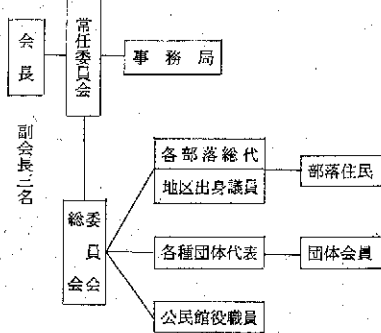
効率的運用を模索

(一) 公民館活動は、一室を利用して出発した。動は新しい。そんなわけで当時としては止むを得なかった指導であったかも知れないが、公民館活動は館がなるといって、指導者たる人の行動力に場々の玄関に「田尻」によってとる主張されたことも「公民館」の看板があった。しかし新しい酒は新しい

寝によって完成するといわれるように、年が経てば従い独立公民館の建設の要請が、地区民の間から湧いてはじめて起った。公民館の目的については「公民館」で台頭してきた。果してのようには住民活動の必要にこたえ、教育、学術、文化の普及ならびに向の上にとり、もって地域の民主化の推進に役立つこと目的とする。六年の自治会のモデルコミュニティと社教でも述べている。これを消化してゆくと、これに独立の館がなるとは事業の推進は到底望むべくもないであろう。

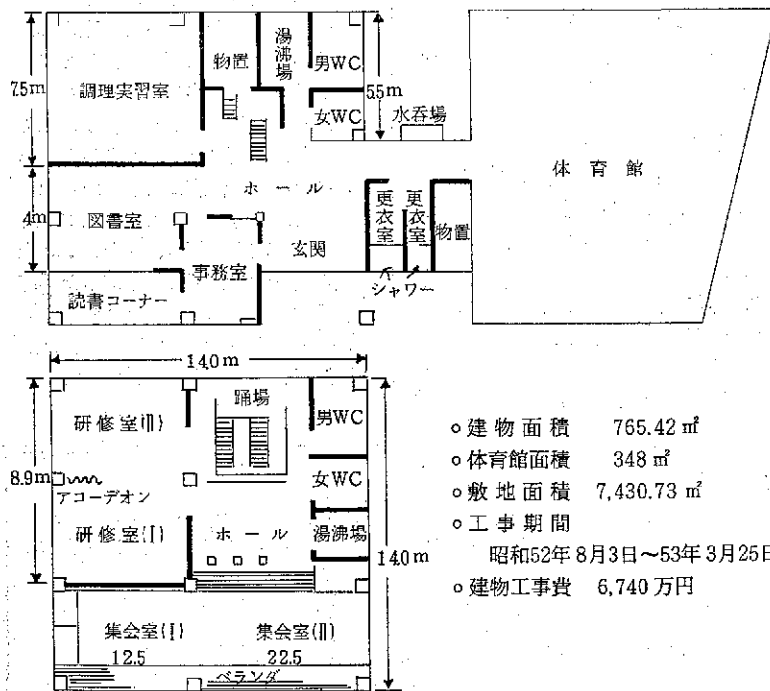
(二) コミュニティづくり
台頭
「コミュニティセンター」として玄関には「公民館」と

田尻コミュニティセンター 振興協議会組織表



会員は地区内住民全員ですが、代表機関として振興協議会を組織し、センターの管理運営にあたります。

施設平面図



- 建物面積 765.42㎡
- 体育館面積 348㎡
- 敷地面積 7,430.73㎡
- 工事期間 昭和52年8月3日～53年3月25日
- 建物工事費 6,740万円

板を掲げ、公民館も共存し、両者を目的に向かつて活動を始めた。本年度の主な事業として、講座、教室では郷土史、盆義、良縁、手芸、着付、生花、料理など、地区全体として体育祭、敬老会、盆踊、ダンス、元朝会などである。

また、「挨拶運動」を規定し、保育所、小、中学校と連携し、明るい村づくり、人間性回復をはかるべく、大人も子供も笑顔で言葉をかけ合う運動の実施、標榜一あり。

センターは昭和五十三年四月開館して以来、心かよわず、村づくりを開始した。本年度の主な事業として、講座、教室では郷土史、盆義、良縁、手芸、着付、生花、料理など、地区全体として体育祭、敬老会、盆踊、ダンス、元朝会などである。

この二つは独自の性を失わないよう進捗するとともに、一体化によって効果を挙げ得る事業も多い。従ってその運用を誤らないよう文化、福祉の向上を図っていき

(柏崎市田尻公民館長・片桐 久夫)

柏崎市南鯖石公民館

館長 本間 重利(02572) 7—2002
〒945—14 柏崎市山室2931—1

指導と世話役は父兄

……かず多い子ども会行事

実践記録シリーズ

⑧1

南鯖石は柏崎市でも南端、東に八石山、西に黒姫山にはさまれ、中央を流れる鯖石川に沿った戸数800戸、昭和32年に柏崎市と合併した9つの部落からなる。きわめて零細な稲作を中心とした部落である。



フィールドアスレックで体づくり

(1) 南鯖石子ども会連合会結成

昭和53年にPTA、部長区長、公民館が中心になって南鯖石子ども会連合会を結成した。会長、副会長、委員などのほか、各部長ごとに直接子どもたちのめんどうをみていただく指導員をきめて、PTAの郊外指導部員と常に協力しあって子どもたちの指導をしていただくことにした。さらに最近のこのPTAも婦人ばかりで、活動の内容によっては、どうしても男手でなければならない。そこで、各部長より一名または二名の男の人を送り出し特別部会を作った。この人たちが物を作ったりする場合の重要な役割をはたしているのです。たとえば柏崎ぎおん祭りに参加する山車や、たるみこしづくり、学校裏山にアスレックフィールド作りなどをする。

(2) 南鯖石子ども連合会の行事

1. 走ろう会
春の雪消えから秋の降雪をみるまで、天気の良い日曜日の早朝、体協の方や父兄にまじって行く。
2. 歩こう会
春秋2回父兄をまじえて飯盒炊きんをかねて、3年生以上が参加して実施している。
3. 各種の野球大会
鯖石郷野球大会、市主催の野球大会、隣接校との親善大会に出場。

4. 柏崎市子どもスポーツ大会
12月下旬、市公民館主催の卓球、バドミントン大会に出場。
5. 柏崎ぎおん祭り
小学生5・6年男女が全員揃いの祭りのハッピー姿で、国際児童年にもなんだ山車とたるみこしをひっさげて参加した。
6. 正月の塞の神祭
ブルトナーでふみしめた雪の上で秋集めておいた藁を前日から子ども会の役員と子どもたちの塞の神を作って、学業の向上と、家内繁栄、交通の安全を祈願して盛大に行われる。
7. かるた取りの指導
百人一首のかるた取りのやり方を2ヶ月前ころから希望者を集めて指導しておいて正月大会を開いている。
8. 俳句の作り方の指導
9. 子ども会のぞ自慢大会
10. 地区敬老会の出演
地区敬老会の余興として日ごろ練習しているクラブの児童が余興の披

露をかねて参加してくれる。その上1人1人の老人へ御手紙を差上げている。これが老人との文通のきっかけを作っている。老人を大切にする幼な心づくりである。

11. ロードレースに参加
12. 青少年健全育成懇談会
教育上の諸問題、非行の問題などかねて父兄と懇談会を開催している。
13. アスレックフィールド作り完成
学校の裏山をつかって、恵まれた自然の中で自然に親しみ、自然に働きかけ、自らの体づくりを楽しみながらいそしめるように、学校教育の大きな目標にそうべく3年前からこの大事業の作成にとりかかった。
こまかな計画のもとに地主の了解を得て、雑木を切る、坂を作る。土地をならず、大変な作業だったが昨春完成した。小学校ではこれを中心とした体育の研究会を開催し、なかなか評判のよい研究会となった。

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

◎内容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A 5判34ページ 1部 250円(送料実費)

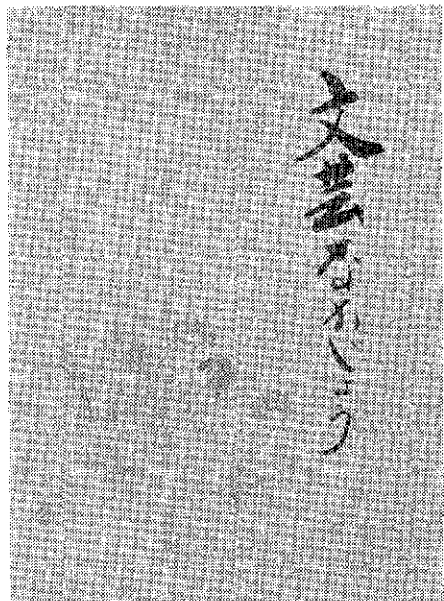
◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2—9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073

公民館を軸として、地域に根をおろした文芸活動がさかんにおこなわれています。

編集部に届けられた公民館発刊の文芸誌の中から、今回は「文芸ななじょう」掲載の一随筆を紹介しします。

公民館の文芸誌



小僧時代

安 沢 栄 宣

寺を離れ上京

現在日本の文壇に、「匿名を懸けている丹羽文雄先生、水野龍一先生、少年時代の寺の小僧として其腕を磨いていくには並大抵ではなかつた。今日と伝記に読んだことがたまたまである。あまつさえ大正初

ある。今の寺の小僧は、殆んど寺に生れ育ち、老僧の後継者形事象に倒産してしまつた。私が寺になつてゐる。昔は、一般の家産がへ行つたのは二つには「口減し」の善徳の徳と称して、師匠の許へ入寺したものである。私もその例に洩れず、農家の三男坊から寺へ貰われて行つたのである。父母が自分の子供を手離すには、余程の理由があつたに相違ない。当時、堂から境内地の掃除、朝晩の御勤

自分のおかれてゐる場所を思ひ返り、懐家の月経、日の廻るよ

してゐる。父には先妻の子供三人と後妻の子供三人計六人の子供があつた。父は細々ながら職人三人を雇ひ、材木商を管なんであつた。六人の子供を一本づつで養育して行くには並大抵ではなかつた。天長節の朝であつた。柳行孝三が大人あり、妻も子供も病弱であつたので、一人倍苦勞が多かつた。そこでこの寺で長く勤めていて、うだつが上がらなかつたので、友達のいた寺へ逃二するこ

うな毎日が続いた。寺へ行つたら、一僧強で思つた事は、ここに完全に彼れ去つた。師匠には子供が六人あり、妻も子供も病弱であつたので、一人倍苦勞が多かつた。そこでこの寺で長く勤めていて、うだつが上がらなかつたので、友達のいた寺へ逃二するこ

ふたたび郷里へ帰る
この新聞店に勤めていた先輩も後輩も夕暮後はお酒になつて、お目遣いやら馬車問題に就いて議論を闘つたものである。就職して三ヶ月後新聞店勤めるのは百種抄本、身が新聞費、親権者の同意書が必要になつた。この事から足がついてきた師匠が東京まで迎えに来てくれた。師匠は「晩中私と店主下郷里へ帰るつもりだ。

うな毎日が続いた。寺へ行つたら、一僧強で思つた事は、ここに完全に彼れ去つた。師匠には子供が六人あり、妻も子供も病弱であつたので、一人倍苦勞が多かつた。そこでこの寺で長く勤めていて、うだつが上がらなかつたので、友達のいた寺へ逃二するこ

その口説きの中に、「あれが母なれば一軒残り手離れを持ってきて親は心配の余り食欲もなくけつて寝てお前の帰りを待つてゐる。」との話に涙にまた寺へ帰る。明治大正時代は、現在のような豊かさになつたが、仏教の精神が脱落して去つて来たように思ふ。寺参詣に来る檀越者の人々は僧侶抜きにして口賃の教えを實踐したと申さねばならない。私の小僧時代はこのよう無軌道な振りで両親と師匠に心配かけた。其罪業は眞に大きい。深く懺悔して筆を擱く。

その口説きの中に、「あれが母なれば一軒残り手離れを持ってきて親は心配の余り食欲もなくけつて寝てお前の帰りを待つてゐる。」との話に涙にまた寺へ帰る。明治大正時代は、現在のような豊かさになつたが、仏教の精神が脱落して去つて来たように思ふ。寺参詣に来る檀越者の人々は僧侶抜きにして口賃の教えを實踐したと申さねばならない。私の小僧時代はこのよう無軌道な振りで両親と師匠に心配かけた。其罪業は眞に大きい。深く懺悔して筆を擱く。

（原文のまま）

その口説きの中に、「あれが母なれば一軒残り手離れを持ってきて親は心配の余り食欲もなくけつて寝てお前の帰りを待つてゐる。」との話に涙にまた寺へ帰る。明治大正時代は、現在のような豊かさになつたが、仏教の精神が脱落して去つて来たように思ふ。寺参詣に来る檀越者の人々は僧侶抜きにして口賃の教えを實踐したと申さねばならない。私の小僧時代はこのよう無軌道な振りで両親と師匠に心配かけた。其罪業は眞に大きい。深く懺悔して筆を擱く。

で、パニックが来々と建ち並び、四で二ヶ月の食費十五円で残りの道筋も河川も火災の残骸が散らして、十五円で希望の学校に入り、就職して来た。神田の旅館に新新聞配送も慣れたので、だれでも入れる、神田の研数学館に入つた。ここで英語、数学、国漢の初歩を勉強した。然し新聞配送も楽ではなかつた。毎日快晴の日許りではない。雨の日もあれば風の日もある。新聞配送はどんナドシヤプリの口でも傘をさすわけにはいかない。ずぶ濡れになりながら、予定の時間内に配送を終了しなければならぬ。泥にまみれ走っている様子は、どうも風か野良犬のようであつた。この新聞店に勤めてゐる同僚は殆んど地方の中学とか商業学校を卒業して進学して来た。皆かなりの年配で早稲田とか明治に在学している者もあれば、希望する学校の難関突破のため日夜努力している学生もいた。

わたしのあしあと

戦中・戦後の激動と混乱を生きぬいた11人は、戦時下の初恋の人との別離、婚家から吹雪の子連れ脱出行、父や夫の転勤につれて浮き草のように移り住んだ人生——などを赤線々につづり、しかもなお、ねばり強く明るい雪国の現代女性、の生きざまを浮き彫りにしている。

柏崎市中央公民館・婦人大学セミナー
女性史コース刊
・B6判 328 ページ
・1冊 1,200円 (〒250円)
・申し込み先
〒945 柏崎市諏訪町6-6
柏崎市中央公民館・事業係
電話 02572-2-2637

あの頃のこと

山崎 昇

実践活動のあれこれ (2)

昭和四十四、五年頃の学習活動か」と暗い空を仰いで歎息し、
 としては、今、ノートを眺め返して、一言一語することも賑々であった。
 てみると、社会級級講座が二十学
 級。家庭教育級は国語補級級
 が二十学級、自主学級が十八学
 級。

職域及び地域別青年学級が八学
 級と、随分多々の教室を開設した
 ものである。
 最近でこそ、地域の文化センタ
 ーとしてモダンな公民館が数々と
 各地に建てられているが、当時の
 活動の隆盛は会場の確保であっ
 た。

厚生会館の中小ホール、中越婦
 人会館、自治会館等の共用施設は
 もとより、果ては銀行のホール、
 小中学校の教室、最後には長岡女
 子高校の教室までお借りしにゆく仕
 末であった。
 さらに折折折講師の日程がどれ
 たが、会場用のタイムシフトが一
 致しなかったり、その調整に四苦
 八苦したこともあった。

こんなことから、机立ちも椅子
 運びの会場準備は、寧ろ大変な事
 で、敗戦の夜なみほりの大空校の鐘
 をあけて、「今夜は何人集まろうと
 しようか。」
 一方、その頃の青少年対策はど
 うであったろうか。
 世の中はまっやまっ青少年の健全
 育成に一段と眼が注がれ、新潟県
 青少年福祉推進委員長岡地区協議
 会十人委員会から任命され「青少
 年対策の指導系統の明確化」を標
 題に、ようやく軌道に乗り出した
 頃であった。

市にも長岡市青少年問題協議会
 が設けられ、市長を会長に、家
 長、警察、職安、小中学校々長の
 代表等が集まり熱心に討議がなさ
 れた。
 その頃にも、今の新潟市長さ
 ん等が中心になられて「情熱の焦
 点」を青少年福祉に集めるための方

策が色々研究された時代でもあっ
 た。
 戦前及び終戦直後の新築だった
 青年団活動もそろそろ低迷し始め
 ており、市街地にある極く少数の
 団体の存続すら風前の灯状態。
 それでも農林部では4日クラブ
 等の集いが続けられ、夜遅く膝を
 ましえて若い熱気の中で語り合う
 ことも賑々であった。

戦前及び終戦直後の新築だった
 青年団活動もそろそろ低迷し始め
 ており、市街地にある極く少数の
 団体の存続すら風前の灯状態。
 それでも農林部では4日クラブ
 等の集いが続けられ、夜遅く膝を
 ましえて若い熱気の中で語り合う
 ことも賑々であった。

公民館運営審はじめ館長・主事の必携書

公運審手帳

刊行

しまと、成人式出席者を勧誘し
 て新成人宣誓を実施し、講座終了
 者に呼びかけて、数年にわたり幾
 つかの青年グループの結成と育成
 に努めたこともあった。
 婦人団体の方は全戦に苦令化の
 傾向を示しつつあったものの、黄
 色い気配船に加まされて吊しあげら
 れることもあり、ウーマンパウワ
 ーはなお衰えず、意気軒昂なるも
 のがあった。
 一方、子供会は雨後の筍のよう
 に続々と結成され、既に昭和四十
 年には百団体結成記念大会が行わ
 れる等、熱く県内でも屈指の活動
 振りであったと思われる。
 夕陽が暮れ、夕陽に輝山
 が紫に浮かぶ夕陽、夕陽に輝山
 を抱へ、赤手に陥るかと力を
 わたす思いをし、ハラハラなが
 り頭を打ったことも再三であっ
 た。

それにしても興業と言ふ危険な
 仕事を、よくもまあ武士の商法で
 力づくりの面では、面白く遊
 びながら力づくりに出来るよう
 に、子供会のリーダー研修会等
 ゲームのやり方を指導した。
 また各校区公民館、分館単位で
 練習したママさんバレーでは、そ
 の実力を発揮する場として競技大
 会を行ない、家庭婦人の体力の増
 強につとめた。
 子供をだいて、ドラ声張りあり
 けて声援を送る旦那さん達の微笑
 ましい絵巻も、ママさんバレー大
 会ならではの見られぬ光景であっ
 た。
 (筆者は長岡市庶務部主幹・
 五岡市中央公民館長)

今日、生涯教育とか、生涯学
 習という声、あらゆる機会に
 耳にする。公民館はその生涯学
 習の中心センターとして期待さ
 れている。そこで、公民館が
 「開かれた公民館」としての役
 割、機能を実現するには、住民の欲
 求を活動に反映させなければな
 らない。そこで公民館運営審議
 会委員の任務が大きく重視され
 ている。
 公民館運営審議会は「公民館
 経営の羅針盤である。」「とか
 「公民館の頭脳であり、参謀で
 ある。」「ともいわれている一方
 で、現実には「会して議せず、議
 して決せず、決して為さず。」「
 ともいわれるほど形骸化している
 とも評されている。こうしたな
 かでの本質の刊行は、まさに羅
 針盤の出現といえます。
 内容は「公民館の目的と機
 能」「公民館運営制度の意識」「公
 運審の役割」「こんな公運審は
 公民館をどうする」「など、具
 体的な内容、著者は朝比奈博
 氏、版価冊六〇〇円の送料
 別、県会館で販売。

あとがき

何十年來の筆名といわれる今
 冬ですが、不思議と下越地方の
 平場は比較的小雪で(二月下旬
 現在)平年並か、またはそれ以
 下のようにも感じられるほぼ少
 ないようです。
 そんなところから、渡り鳥
 が大群して新潟県近郊の沼田河
 川に集中渡来中です。とくにカ
 ン類やハチクオウ類が多く自
 たのしませてくれるものがあり
 ますが、自然のなかで生きつづ
 でいく彼らの知恵と生命力には
 感心させられます。これから雪
 解けにかけて彼らの移動、北上
 シーズンになりますが、県内の
 河川、水田地帯などには、自然
 のエサをあさる姿も見られるこ
 とでしょう。

豊栄市長(本会々長)といつ
 職務をこなしながら、読書、執
 筆活動にも並はずれた力を発揮
 している石井耕一氏、ことごと
 新潟日報社刊で親しまれている
 「晴雨計」の執筆者として健康
 をなそう。
 内容は広く深く、文化人市長
 の面目躍如といつて可い。
 書くとつとつは、自らの考
 え方に責任をもつといつて可い
 つながら生き方の問題でもあり
 ます。ことごと公民館の普及と
 からも大いに執筆していただき
 たいものと存じます。(本)